

つくば市令和元年（2019年）6月定例記者会見 資料一覧

令和元年（2019年）6月5日（水）

つくば市市長公室広報戦略課

- 1 「国土交通省 スマートシティモデル事業」の採択について
- 2 「総務省 革新的ビックデータ処理技術導入推進事業」の採択について
- 3 令和元年度「つくば Society 5.0 社会実装トライアル支援事業」の募集開始について
- 4 「Tsukuba Startup Night 2019」の開催について
- 5 「つくば市自殺対策計画」（案）について
- 6 秀峰筑波義務教育学校開校記念事業 手作り「秀峰筑波かるた」の完成について
- 7 つくば市イベント情報（2019年6月、7月）

世界のあしたが見えるまち。

<p>件名</p>	<p>「国土交通省 スマートシティモデル事業 先行モデルプロジェクト」の採択について</p>
<p>内容</p>	<p>1 趣旨</p> <p>国土交通省では、新技術や官民データを活用しつつ都市・地域課題を解決するスマートシティモデル事業の提案を全国から募集し、選定された事業に対し、計画策定や実証実験等の取組など、重点的に支援することとしています。</p> <p>このたび、茨城県、筑波大学、つくば市等で構成する（仮）つくばスマートシティ推進協議会が提案した事業が「先行モデルプロジェクト」に採択されました。</p> <p>2 事業概要</p> <p>つくば市を対象区域として、モビリティイノベーションによる新たな統合型移動サービスの実現、IoT・AI利活用によるデータ連携基盤とユニバーサルインフラの構築により、「安全・安心・使い勝手」のよい最新技術による地域社会サービスを提供します。（詳細は、別紙資料参照）。</p> <p>3 今後の予定</p> <p>今年度の取組としては、（仮）つくばスマートシティ推進協議会において、「スマートシティ実行計画（仮称）」を策定し、実行計画に基づき、筑波大学及びつくば駅周辺、研究学園駅周辺、つくば市全域の3つのエリアを対象区域に、新技術・データを活用した都市・地域の課題解決に向けた実証実験に取り組む。</p>
<p>資料等</p>	<p>先行モデルプロジェクト概要「つくばスマートシティ協議会」 国土交通省発表資料</p>

<p>件名</p>	<p>「総務省 革新的ビックデータ処理技術導入推進事業」の採択について</p>
<p>内容</p>	<p>1 趣旨 総務省が公募した、「革新的ビックデータ処理技術導入推進事業」において本市と姫路市及び株式会社エーティーエルシステムズの3事業者で共同提案を行った実証事業が6月4日に採択されました。 この提案は、クラウドAIによる行政情報・健診情報の分析実証事業であり、実証内容は、健診受診率向上のため、健診の予約日の状況を踏まえAIが分析・判断を行い、より適切な健診日を設定することや、健診結果データや住民情報データ等を基に、各々の対象者に最も適した勧奨方法についてAIによる分析・判断を行い、受診へ誘導する勧奨通知を発送することを実証するものです。</p> <p>2 今後の予定 今年度の実証事業であり、実証に必要となるデータ収集やシステム構築を行い、8月頃から実証を進める予定です。</p>
<p>資料等</p>	<p>姫路市等「クラウドAIによる行政情報・健診情報等分析実証事業」 総務省発表資料</p>

イベント等名	令和元年度「つくばSociety 5.0 社会実装トライアル支援事業」の募集開始について
1 趣旨・目的	つくば市では、平成29年度から「世界のあしたが見えるまち」のビジョンの下、革新的な技術やアイデアで社会課題を解決する、Society 5.0の社会実装に向けたトライアル（実証実験）を全国から公募し、優れた提案を全面的にサポートしてきました。今年度も以下のとおり募集を開始しました。
2 日時	令和元年（2019年）5月20日（月）～6月28日（金）午後5時15分
3 内容	<p>1次審査（書面審査）及び2次審査（公開プレゼン審査）を経て、最終的に5件の採択を予定しています。</p> <p>採択案件については、</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）トライアル費用補助（上限100万円） （2）市内施設活用等支援（市内施設の確保、モニタあっせん） （3）継続フォロー（市政サービスへの導入検討、普及促進） <p>などの支援を予定しています。</p>
4 対象者等	<p>教育機関（中学校～）・企業（個人事業主も可）・研究機関</p> <p>※各団体において、責任者と構成員が明確な場合、部署・研究所単位の応募も可</p>
5 主催等	つくば市
6 特記事項	今年度から「スタートアップ賞」を新設します。スタートアップからの最も優秀な提案1件に授与し、つくば市スタートアップ推進室のコーディネートによる支援を実施します（受賞要件：募集対象者のうち設立5年以内等のもの）。
資料等	提案募集チラシ（1枚）

イベント等名	「Tsukuba Startup Night 2019」の開催について
1 趣旨・目的	<p>つくば市は、“世界のあしたが見えるまち”の実現に向け、スタートアップの推進に取り組んでいます。</p> <p>特に、つくばは、ロボティクス、ヘルスケア、宇宙といった“ディープテック”スタートアップが集積しており、都内とは異なる「つくばのスタートアップエコシステム」をスタートアップ関係者に体感していただくため東京虎ノ門で「Tsukuba Startup Night」を開催します。</p>
2 日時	令和元年(2019年)7月4日(木)16:00~21:30
3 場所	虎ノ門ヒルズ森タワー2階 虎ノ門ヒルズカフェ (東京都港区虎ノ門1丁目23番地1)
4 内容	<p>◇キーノート（予定）（順不同・敬称略）</p> <p>ライフロボティクス株式会社 創業者/元代表取締役 CEO 兼 CTO 尹 祐根 CYBERDYNE 株式会社 代表取締役社長/CEO 山海 嘉之</p> <p>◇パネルディスカッション（予定）（順不同・敬称略）</p> <p>グローバル・ブレイン株式会社 青木 英剛 ユニバーサルマテリアルズインキュベーター株式会社 山本 洋介 一般社団法人 TX アントレプレナーパートナーズ 尾崎 典明 筑波大学国際産学連携本部 中川 磨</p> <p>◇スタートアップ及び支援機関によるブース出展</p>
5 対象者等	<p>都内のスタートアップ関係者（ベンチャーキャピタル（VC）、士業（弁護士、会計士等）、起業家、起業を目指す方、産業支援機関 等 400人（予定）※参加費無料 事前申込</p> <p>※申込サイト：https://tsukubastartupnight-20190704.peatix.com/ 「ピーティックス Tsukuba Startup Night」で検索</p>

6 主催等	<p>主催：つくば市</p> <p>共催：独立行政法人日本貿易振興機構（ジェトロ）茨城貿易情報センター、Venture Café Tokyo</p> <p>後援(予定)：内閣府、茨城県、国立大学法人筑波大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所(AIST)、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)、国立研究開発法人物質・材料研究機構(NIMS)、株式会社つくば研究支援センター(TCI)</p>
7 特記事項	<p>◇開催の背景</p> <p>つくば市にはロボティクス、ヘルスケア、宇宙等、都内と異なる特色を持った「ディープテック」スタートアップが集積しており、VCやつくばへの進出を目指す起業家等に向け、つくばのスタートアップエコシステムやコミュニティの価値をPRする。</p> <p>また、今年9月にリニューアルし、インキュベーション施設としてオープンを予定している「つくば市産業振興センター」の概要について紹介する。</p> <p>◇昨年度「Tsukuba Global Night」実績</p> <p>参加実績：400名以上(都内のビジネスパーソンや投資家等)</p> <p>内容：つくば市に関するスタートアップ経営者や支援者18名によるプレゼンテーションやパネルディスカッション、スタートアップ支援機関によるブース出展を実施。</p> <p>◇「つくば市スタートアップ戦略」概要</p> <p>「つくば市スタートアップ戦略」とは、つくば市における新たなビジネスモデルを開拓し急成長を目指す会社(＝スタートアップ)の支援等を戦略的に推進するために策定した戦略です。</p> <p>スタートアップの成長段階に応じて、Ⅰ新規参入促進(潜在的起業希望期～創業期)Ⅱ事業化期への移行促進(創業期～事業化期)に対応する24施策を重点的に実施します。</p>
資料等	<p>申込サイトのスクリーンショット</p>

件名	「つくば市自殺対策計画」(案)について
内容	<p>1 趣旨 平成28年の自殺対策基本法の改正により、すべての市町村に「自殺対策計画」の策定が義務付けられています。つくば市の年間自殺者数は、ここ数年25人から40人の間を推移しており、最終目標の自殺者ゼロにはとどかない状況です。「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「つくば市自殺対策計画」を策定します。</p> <p>2 経過 (1) 平成30年11月14日 自殺対策計画に係る関係各課説明会を開催 (2) 平成30年12月3日～12月7日 自殺対策計画に係る関係各課等ヒアリング実施 (3) 平成31年2月14日 平成30年度第2回つくば市健康づくり推進協議会にて、計画の審議</p> <p>3 ヴィジョン 「誰も自殺に追い込まれることのない社会の実現」</p> <p>4 プランの達成目標 ① 自殺対策に関する有識者会議を、必要に応じて開催する体制をとる ② 一般市民向けゲートキーパー研修受講者数延べ1000人 ③ 相談先があることを知っている人の割合(健康つくばアンケート「相談先一覧チラシ」認知度)15%以上 ④ 1年以内に自殺を考えたことのある人の割合(健康つくば21アンケート)5%以下 ⑤ 公立小中学校・義務教育学校において「SOSの出し方教育」の授業を実施している学校100%</p> <p>5 今後の予定 パブリックコメント後、令和元年(2019年)8月頃公表予定。</p>
効果等	自殺対策計画を策定し、普及・啓発することで、自殺を身近な問題と捉え、将来の自殺者ゼロを目指すことができる。
資料等	<ul style="list-style-type: none"> ・つくば市自殺対策計画(案)の概要版 ・つくば市自殺対策計画(案)

<p>件名</p>	<p>秀峰筑波義務教育学校開校記念事業 手作り「秀峰筑波かるた」完成について</p>
<p>内容</p>	<p>平成30年4月、筑波地区2中7小学校を統合し、「秀峰筑波義務教育学校」が開校しました。</p> <p>開校記念事業として、初年度PTA本部役員を中心に「秀峰筑波かるた制作委員会」を立ち上げ、児童生徒、保護者、教職員、地域関係者等、約3,000人の協力のもと、手作りの「秀峰筑波かるた」が完成しました。</p> <p>なお、このかるたには、地域の特産品や伝統行事、歴史上の人物・方言など多数登場しています。</p> <p>【かるた概要】</p> <p>発行日時：平成31年（2019年）4月 企画制作：秀峰筑波かるた制作委員会 制作個数：110個</p> <p>○読み札は5年生児童、絵札は美術部生徒が作成。 販売は行っていませんが、希望者へは貸出しています。</p>
<p>特記事項</p>	<p>完成後、地域等でかるた大会を8回開催。今後、学校と協力した校内かるた大会等を予定しています。</p>
<p>資料等</p>	